

「平成 28 年度 第 1 回 DRM セミナー」

10 月上旬、ISO/TC204 年次総会（ニュージーランド・オークランド）と ITS 世界会議 2016（オーストラリア・メルボルン）が連続して開催されました。そこで本年度第 1 回の DRM セミナーでは、第 23 回 ITS 世界会議のトピックスを紹介するとともに、ITS データベース技術に関する ISO/TC204/WG3 の新たな取組について紹介いたします。

■日時 平成 28 年 11 月 28 日(月) 14:30～17:00（受付開始 14:00）

■場所 日本デジタル道路地図協会 6 階 大会議室

■講演

(1) 「第 23 回 ITS 世界会議 Melbourne 2016 のトピックス」

DRM 協会 特別研究員 柴田 潤
研究開発部長 土居原 健

(2) 「ISO/TC204/WG3 の新たな取組み -サブワーキンググループの新たな活動-」

ISO/TC204/WG3 国際コンビーナ 柴田 潤 (DRM 特別研究員)
SWG3.1 国際コンビーナ 畑山 満則 氏 (京都大学教授)
SWG3.2 国際コンビーナ 小原 清弘 氏 ((株) 日立製作所主任研究員)
SWG3.3 国際コンビーナ 中條 覚 氏 ((株) 三菱総合研究所主席研究員)

■定員 80 名 ***定員に成り次第、締め切らせていただきます。**

■参加費 無料 (事前申込み必要)

■会場案内 東京都千代田区平河町 1-3-13 ヒューリック平河町ビル 6F
DRM 会議室 (地図は下記 URL をご参照ください。)
<http://www.drm.jp/company/address.html>

■参加申込み方法

参加をご希望の方は、**11 月 24 日(木)まで**に、①参加者氏名、②会社名、所属、役職、③電話番号、④電子メールアドレスを記載し、下記メールアドレスへ参加申込みメールをお送りください。
(参加者が複数の場合は、参加者全員の氏名等上記①～④の記載をお願いいたします)

担当 : yokoyama@drm.or.jp (研究開発部) 横山 宛

■主な内容

(1) 「第 23 回 ITS 世界会議 Melbourne 2016 のトピックス」

【会期】 2016 年 10 月 10 日～14 日

【会議テーマ】 “ITS – Enhancing Liveable Cities and Communities” — 住みよい街とコミュニティへ —

【主催】 メルボルン世界会議組織委員会

【公式 Web サイト】 <http://www.itsworldcongress2016.com>

【総参加者数】 11,496 人（参加 73 カ国）



【会場】 The Melbourne Convention and Exhibition Centre (MCEC) と Japan Pavilion



DRM 協会のパネル

Japan Pavilion



V2I 技術を応用した GPS 受信不可領域における位置特定技術

(2) 「ISO/TC204/WG3 の新たな取組み -サブワーキンググループの新たな活動-」

自動走行技術の実現には、要素技術として高精度地図や車両周囲のダイナミック情報の取扱いが不可欠となっています。このような背景のもと情報の取扱いに関して国際標準化の活動にも新たな取組みが始まっています。ITS データベース技術に関する ISO/TC204/WG3 の新たな取組の全体スコープ、ならびに 3 つのサブワーキンググループの活動をそれぞれの国際コンビナーナから紹介いたします。

—WG3 全体スコープ

・自動運転ワークショップ開催（主催 WG3）の状況

—SWG3.1 のトピックス

・PWI 20524 GDF5.1（高精度地図のファイル交換）

—SWG3.2 のトピックス

・動的な地図要素（ダイナミックマップ）

ダイナミックマップのロジカルデータモデル

—SWG3.3 のトピックス

・PWI 17572-4 レーンレベル位置参照方式 【Location Referencing – Part-4: Lane-level LR】

協調/自動走行システムのための位置参照手法-レーン/レーン内の位置参照を可能とするハイブリッドプロファイル

—タスクフォースのトピックス

・PWI 21718 時空間データ辞書 【Spatio-temporal Data Dictionary】

時空間オブジェクトに関する静的・動的データのデータディクショナリ



WG3 会議風景

○お問い合わせ

（一般） 日本デジタル道路地図協会（担当 横山）

TEL03-3222-7990

e-mail yokoyama@drm.or.jp

<http://www.drm.jp>